

びはく 自然講座のおさそい

伊那谷に大被害を与えた167年前の安政東海地震

講師 坂本正夫 氏 (本館客員研究員)

講師プロフィール

南アルプス最古の地質、御池山隕石クレーター、活断層としての中央構造線、伊那谷の活断層、根羽古火山、遠山地震の被害などを研究。日本地質学会、日本惑星科学会、日本歴史地震研究会の会員。南アルプスジオパーク学術部会員。



飯田市街地にある愛宕神社は地震で谷底へ倒壊→

江戸時代末期の1854年に安政東海地震が起き、伊那谷にも大きな被害を与えました。プレート境界地震として、今後いつ起きてもおかしくないと言われている東海地震の167年前に発生した超巨大地震の被害を詳しく紹介します。そして、北信まで大きな被害をもたらした現象は、糸魚川―静岡構造線やフォッサマグナの関係する長野県の特異な地質構造で説明できることが分かったので紹介します。

日時 **1月22日(土) 13:30~15:00**

会場 **飯田市美術博物館 講堂**

聴講 **無料** 定員 **50名** 申込 **必要**

お電話(0265-22-8118)にてお申し込みください

申込受付

1/8(土)~
(9:30~17:00)

- ・申し込みの際に、①講座名 ②氏名 ③電話番号 をお知らせください。
- ・メール、FAXでの申し込みはできません。
- ・キャンセルのご連絡はお早めをお願いします。

ご来館のお客様へのお願い

・発熱や咳などの症状がある方は入館をご遠慮ください。・必ずマスクを着用してください(未着用の方は入館をお断りさせていただきます)・少人数での入館をお願いいたします。また、観覧時は会話をお控えいただき、他のお客様との距離を確保してください。・館内が過密になった場合は入場を制限させていただきます。



飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252 <https://www.iida-museum.org/>

◆ 今後の自然講座のご案内 ◆

- 1月29日(土)、本館専門研究員・村松 武による「南アルプスのダイナミズムを探る」
- 2月5日(土)、長野県環境保全研究所・高野宏平さんによる「温暖化と外来種が脅かす長野県の生態系」